

お客様各位

株式会社 セゾンテクノロジー
HULFT テクニカルサポートセンター

DataSpider Servista の SAP トリガーおよび SAP アダプタで発生する不具合に関する報告

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

DataSpider Servista において、SAP IDoc の送受信を行う際、想定通りにデータが連携されない事象が判明したため、ご報告申し上げます。

SAP トリガーおよび SAP アダプタで SAP IDoc の連携を行っているお客様におかれましては、下記内容をご確認ください。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

- DataSpider Servista Advanced Server Package 4.4 以降
- DataSpider Servista Basic Server Package 4.4 以降
- DataSpider Servista Select 4.4 以降
- DataSpider Servista with Software Protection 4.4 以降

- DataSpider Servista 5 Advanced Server Package 全てのバージョン
- DataSpider Servista 5 Basic Server Package 全てのバージョン
- DataSpider Servista 5 International Edition Advanced Server Package 全てのバージョン
- DataSpider Servista 5 International Edition Basic Server Package 全てのバージョン

※DataSpider Cloud 1.5 への影響はありません。

2. 影響範囲

- SAP トリガーの IDoc の受信
- SAP アダプタの IDoc の送信

3. 発生事象および発生条件

以下の3つの事象を確認しています。

① DSS-32545

SAP トリガーで、SAP システムから送信された IDoc に、以下の条件をすべて満たす親セグメントがある場合、各親セグメントに、ほかの親セグメントに属する子セグメントが重複して格納された状態で取得される。

- ・名前が同一の親セグメントが複数存在する
- ・前項の親セグメントそれぞれに対して子セグメントが追加されている

② DSS-32825

SAP アダプタのビジネスメソッド実行処理で、以下の条件を満たす場合、入力データの IDOC_DATA_REC_40 要素直下にある二つ目以降のセグメントが送信されず、最初のセグメントのみ送信される。

- ・インターフェースで IDoc を指定している
- ・入力データで IDOC_DATA_REC_40 要素直下に複数のセグメントがある

③ DSS-32896

SAP アダプタのビジネスメソッド実行処理で、以下の条件を満たす場合、セグメントデータがずれて送信される。

- ・インターフェースで IDoc を指定している
- ・指定した IDoc のセグメントに INTLEN と EXTLEN の長さが異なるフィールドが存在する

4. 回避策

回避策はありません。

5. 今後の対応

①DSS-32545 と②DSS-32825 の事象については、以下の DataSpider Servista バージョンで修正を予定しています。

- DataSpider Servista 5.0.2

③DSS-32896 の事象については、今後のバージョンで修正を予定しておりますが、具体的な対応バージョンは改版でお知らせします。

早期の対応が必要な場合は、先行提供モジュールをご提供いたします。

ご希望のお客様は、技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

■先行提供モジュールについて

先行提供モジュールは、早期にご提供するために、事象の修正を中心とした簡易な確認のみ実施します。そのため正式版のパッチモジュールと比較して、以下の制限があります。

・検証範囲

修正箇所に対する機能のみ確認します。

・サポートサービス

先行提供モジュールを適用した環境も、サポート対象としてお問い合わせに対応いたします。しかしながら、先行提供モジュールに対して個別の対応が必要な場合、正式版パッチモジュールをお待ちいただくことがありますので、ご了承ください。

6. 当ご案内に関する問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2026年05月21日	初版作成
-------------	------